

平成13年度 施策別 取組方向

部局名：生活部、総合企画局 教育委員会

施策番号	施策名		
124	高等教育機関の充実と連携		
<p>【2010年度の目標】 県内において多様な高等教育が受けられ多様な進路選択が可能となるように、高等教育機関の充実が図られています。 また、県と高等教育機関が中心となり、産学官共同研究の実施、人的交流などが積極的に行われています。</p>			
項目	基準年度の状況	1999年度実績	2001年度の目標 (2010年度の目標)
高等教育機関の充実	社会のニーズにこたえる特色のある高等教育機関の整備支援を行っています。	学校、学部などを新設する高等教育機関に対する支援を実施	社会のニーズにこたえる特色のある高等教育機関の整備支援を行っています。 (同上)
県と高等教育機関等との共同研究の推進	県と高等教育機関が主体となった共同研究が実施されています。	4テーマについて共同研究を実施	県と高等教育機関などとの人的交流、共同研究を行う体制を充実しています。 (産学官が参加する共同研究、人的交流が実施されています。)
高等教育機関のインターネット等を用いた遠隔教育の実施	-	引き続き、TV会議システム等を活用し、TV会議シンポジウム、遠隔講義などの実験を実施 11年度で事業終了(100%)	遠隔教育の導入の促進
単位互換制度の実施	-	私立大学高専協会において、各高等教育機関に対し、制度の導入促進を依頼	導入の促進 (100%)
連携大学院制度の実施	-	同上	導入の促進 (100%)

1 平成11年度を取組

(1) 平成11年度を取組概要とその成果

県と高等教育機関との連携を強化するため、高等教育機関の研究者、県職員、関係機関の職員が参加し、共同研究や大学公開セミナーを行った。

(生活部)

三重大学の施設整備の充実について、国等に対して国家予算編成に関する要望書を提出するなど関係機関へ積極的に働きかけた。

(総合企画局)

高等教育機関の有する知的資源と学術研究を活かして、県民生活の向上、文化の振興、産業及び地域の振興を図り、県職員の資質の向上と高等教育機関の研究教育の推進を目的として、県内の高等教育機関の研究者、県職員、関係機関の職員が「GISを利用した行政情報システムの構築」など4テーマについて共同研究を行った。テーマの選定にあたっては、一層の透明性を確保するため、審査会を設置した。

共同研究については、地域も含めて県職員や関係機関の職員が幅広く参加し、高等教育機関研究者との情報交流、人的交流が図られた。研究テーマについては、そのテーマに応じて、市町村や企業に対しても情報収集や連携協力を得るなどして、幅広い研究を実施した。

また、研究に参加していない一般の県職員等に対しても共同研究の成果を周知するため、セミナーなどを開催した。

(教育委員会)

生涯学習センターにおいて「リカレントコース」(三重7大学公開セミナー)、「ライフアップコース」、「マルチメディアコース」のみえ県民カレッジ事業を実施した。

飯南高等学校と大学との推進に向けて松阪大学及び鈴鹿国際大学と協議を行った。

(2) 平成11年度の取組に対する問題点

県と高等教育機関との連携を強化し、産官学共同研究の充実を図るとともに、高等教育機関相互の連携を促進する必要がある。

(生活部)

高等教育機関の充実のために、庁内関係各課との連携を図るとともに、関係団体とも連絡を密にする必要がある。

(総合企画局)

高等教育機関と三重県との連携強化、学术交流、共同研究をより活発化するため、「三重県高等教育機関連絡会議」を設置するなどして、地域と高等教育機関を結ぶためのトータルな取組みが必要である。

(教育委員会)

「マルチメディアコース」については、民間教育事業者の多様な研修が充実してきたため、見直しを図った。

2 平成12年度の取組と成果見込み

高等教育機関と県との連携強化、学术交流の推進、共同研究の充実を図るため、「高等教育機関連絡会議」を設置する。

(生活部)

三重大学大学院の改組構想について、国等に対して国家予算編成に関する要望書を提出するなど関係機関に積極的に働きかける。

また、高等教育機関の単位互換制度の導入を支援するため、他県調査等を実施していく。

(総合企画局)

共同研究のテーマについてはその透明性を確保するため、新たに設置した審査会で決定するとともに、共同研究を幅広い視野に立って推進し、成果の向上を図る。

また、高等教育機関と県との連携強化、学术交流の推進、高等教育機関相互の連携、共同研究の推進を図るため「三重県高等教育機関連絡会議」を設置する。

(教育委員会)

「リカレントコース」は、県内4年制7大学による公開セミナーを実施する。また、「ライフアップコース」は、教養セミナーと三重まなびいすとセミナーを実施する。

飯南高等学校では、松阪大学及び鈴鹿国際大学から講師を招請し幅広い教育を行い個性を伸ばす人材の育成を図る。

三重県教育委員会と三重大学との間で、教員の養成、教職員の資質、研修・研究支援教育課程・教育実践、三重大学と三重県教育委員会との連携に関する事項について協議会を行い本県における教育を支援し、さらなる発展をめざす。

3 平成13年度以降に向けての取組方向

「三重県高等教育機関連絡会議」等において、産官学の交流が活発に行われ、その研究成果が地域振興に寄与されるものとなるようにするとともに、高等教育機関相互の連携を推進するため、単位互換制度等を積極的に支援していく。

(生活部)

三重の将来を担う人づくり及び科学技術振興・地域づくりの観点から、優秀な人材の育成は県にとっても重要な問題である。そのため、進学希望者が多様な進路選択ができるよう高等教育機関の整備・充実への支援を継続するとともに、高等教育機関の単位互換制度、連携大学院制度の導入に向けて「三重県高等教育機関連絡会議」等において、協議、検討を進めていく。

(総合企画局)

地方分権が進む中で、行政は政策自治体への飛躍が求められており、高等教育機関の有する知的資源、人的資源を積極的に活用することにより、短期的な課題、あるいは中・長期的な課題について、産学官の共同研究が活発に行われ、その研究成果が、文化の振興、産業や地域の振興に寄与する。

(教育委員会)

高度情報化・国際化等の多様に変容する社会のなかで、県民は多様で高度な学習内容の提供への期待が高まっているので、学習の内容の精選をおこない、本年度と同様な学習機会の提供する必要がある。

県と高等教育機関が中心となり、共同研究体制をきずき、高等教育機関の多様な人材を生かした研修体制や人的交流を推進する。